

# 議会だより

## 12月市議会から

### 平成19年度12月補正予算 1億1260万円余を減額

9月補正予算以降、新たに必要となった事業を追加または増額補正するとともに、育児休業者の人件費を減額することなどにより、一般会計で1億2800万円余を減額し、特別会計4会計で1540万円を増額しました。歳出の補正など主な内容は次のとおりです。

◆一般会計

人件費 ●育児休業者の増加や人事異動等による減額／1億6100万円余

民生費 ●乳幼児医療費助成事務費の増額／500万円、後期高齢者医療準備事務費の増額／400万円

衛生費 ●総合斎苑施設管理委託料

の増額／90万円

土木費 ●桜井区画整理事業特別会計繰出金の増額／750万円、下水道事業特別会計繰出金の増額／790万円

教育費 ●体育館施設管理委託料の増額／150万円

(以下、◎は平成20年度までの、①は21年度までの、②は22年度までの限度額の意)

債務負担行為 ●住民情報システム開発事業／3億2750万円(◎)、秋葉いこいの広場管理運営事業／2248万円(◎)、福祉事業団施設管理運営事業(その2)／8880万円(◎)、こみ焼却炉整備事業(その1)／3億5000万円(◎)、道路側溝等新設改良事業／1億2000万円(◎)、市道新田高木線

用地取得事業／4300万円(◎)、堀内公園管理運営事業／1億3200万円(◎)、桜井小学校校舎等解体事業／1億3700万円(◎)

◆下水道事業特別会計

人件費の調整による790万円の増額

債務負担行為 ●汚水管路整備事業／8000万円(◎)

◆安城北部土地区画整理事業特別会計

債務負担行為 ●北部施設整備事業／3000万円(◎)

◆安城作野土地区画整理事業特別会計

債務負担行為 ●作野施設整備事業／1000万円(◎)

◆安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計

人件費の調整による750万円の増額

債務負担行為 ●桜井施設整備事業／1540万円(◎)

平成19年第4回安城市議会定例会を12月4日から20日まで開催し、提出された「平成19年度安城市一般会計補正予算」など28案件を原案どおり可決したほか、1案件が報告されました。

5日と6日の一般質問には、11人の議員から行財政、教育、環境、市民生活、都市整備、福祉など市政の各方面にわたり質問がありました。

この議会で決まった主な内容をお知らせします。なお、本会議の詳しい内容は、2月下旬(予定)から市役所市政情報コーナー、中央図書館に設置する「会議録」をご覧ください。また、安城市議会ホームページの「議会映像配信」「会議録検索システム」でも公開します。

### 市長選における選挙運動用 ビラに関する条例を制定

公職選挙法の改正に伴い、候補者間の選挙運動の機会均等を図るため「安城市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例」を制定しました。

### 指定管理者の指定

次の施設について指定管理者の指定を行いました。

桜井福祉センター(社会福祉法人安城市福祉事業団)、秋葉いこいの広場(特定非営利活動法人エヌピーオー愛知ネット)、堀内公園(㈱愛知スイミング三河安城支店)

### 請願・陳情の審査結果

請願2件・陳情1件が提出され、審査結果は次のとおりでした。悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正に関する請願／採択

介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願／不採択

私立幼稚園が負担する園医報酬の補助を求める陳情／採択

### 意見書提出を議決

次の意見書を国の関係機関に提出することとしました。

▽割賦販売法の抜本的改正に関する意見書

▽地方税財源の拡充についての意見書

### 市議会を傍聴してみませんか

手話通訳ができます



議場で行う「本会議」や、議案などを審査する「委員会」などは、当日、受付で氏名と住所を記入するだけで、だれでも傍聴することができます。

●受付 本会議 ▶市役所北庁舎7階  
委員会 ▶議会事務局(北庁舎5階)

※手話通訳は、事前にお申し出ください。

## 一般質問のあらまし

### 行財政



#### ■予算編成方針

問 平成20年度予算編成方針の中に「将来を見据えた『子どもたちに希望、市民に誇り』を与えるまちづくり」とあるが、まちづくりのイメージと平成20年度に取り組む重点施策を伺いたい。また、最小の投資で最大の効果、収入を増やし、支出を抑制するためにどのような工夫を考えているか伺いたい。

答 「子どもたちに希望、市民に誇り」とは、わたしが理想とするまちの姿です。安城市が、うるおいと活力に満ち、災害に強く治安に優れた安全で安心な住みやすいまちとなるよう、また、子どもたちがまちの未来に希望を持って健康やかに育ち、すべての市民が誇りに思えるまちとなるよう、まちづ

くりを進めていきたいと思っております。

重点施策については、安城市が目指す都市像「市民とともに育む環境首都・安城」を具現化する施策を最重要課題とし、環境にかかわる1課1施策を新たに付け加えることとしています。そのほか、子育て支援について、乳幼児医療費助成や児童クラブの拡充、妊産婦健診助成の拡充など市独自の新たな事業を充実していきます。具体的な内容は新年度予算案がましまり次第、公表していきます。

経常経費の削減については、事業効果が薄いと判断された事業や所期の目的を果たした事業を廃止。また、市職員が経費節減の提案を行うなどし、取り組んでいきます。

#### ■消防の広域化

問 改正消防組織法に基づく消防の広域化の方針について伺いたい。

答 現在、県が消防広域化推進計画検討委員会を設置し、計画案を策定。同時に市町村への意見聴取も行い、今年度末までに同計画を策定することとしています。

安城市は、既に衣浦東部広域連合として広域化を果たしており、更なる広域化は、該当しないものと考えていました。しかし、検討委員会から様々な案が提示されたため、県に意見書を提出しました。

問 市役所本庁舎で壁面緑化を実施し、市民に対するPR効果があつたと思う。今後の計画について伺いたい。

答 ゴーヤの無料配布や、市職員が結成した「へちま隊・ゴーヤクラブ」の活動が話題となりました。来年度は、市役所本庁舎に加え、新たに公立保育園23園で実施したいと考えています。また、ゴーヤ・アサガオの苗やネット、育て方のリーフレットを配布。そのほか、ホームページでその効果や育て方などのPR、コンテストの実施、実践例の紹介などを行い、市民への普及に努めていきます。

### 環境



#### ■地球温暖化対策

問 市役所本庁舎で壁面緑化を実施し、市民に対するPR効果があつたと思う。今後の計画について伺いたい。

答 ゴーヤの無料配布や、市職員が結成した「へちま隊・ゴーヤクラブ」の活動が話題となりました。来年度は、市役所本庁舎に加え、新たに公立保育園23園で実施したいと考えています。また、ゴーヤ・アサガオの苗やネット、育て方のリーフレットを配布。そのほか、ホームページでその効果や育て方などのPR、コンテストの実施、実践例の紹介などを行い、市民への普及に努めていきます。

#### ●意見書の概要

当地域では、当市を含む5市で人口50万人規模の衣浦東部広域連合を發足し、既に基準の人口30万人規模を充足している。また、消防広域化に係る多くの課題を克服し、広域化によるスケールメリットなどその機能も向上してきた。加えて、地震災害への対応などを考慮すると、矢作川をまたいだ消防組織については消極的にならざるを得ない。これらことから、これ以上の広域化は希望しない。

教育・子育て



■少人数学級・指導の拡充

問 現在、小学校1・2年生と中学校1年生で少人数学級を実施しているが、今後、少人数学級・少人数指導の拡充をどのように実施していくのか伺いたい。

答 「少人数学級」と「少人数指導」のそれぞれのよさを生かしながら、きめ細かな教育をしていくことが必要です。

少人数学級については、現状より1つ上の学年へ拡大していきたいと考えています。今後、小・中学校のいずれがより望ましいか、いつまでにどのような形で実施が可能か考えていきます。

市民生活



■妊産婦健康診査の拡充

問 妊産婦健康診査の公費負担を7回に拡充したが、更なる充実が必要である。市の考えを伺いたい。

答 厚生労働省の通知では、一般的に14回程度、健診を受けることが望ましいとされています。また、早期受診を促し「かかりつけ医」を持つことも、安全な出産の確保には必要なことです。このため、

福祉



■手話通訳

問 聴覚障害者は手話通訳が必要不可欠であり、利用者の申請に基づき手話通訳者を派遣すべきと感じている。現状の派遣基準について伺いたい。

答 派遣基準は、手話通訳者派遣要綱で定めています。

●要綱の概要  
①安城市に住所があり、意思伝達の仲介者が得られない聴覚障害者が次のことを行う場合「公共機関や医療機関へ出かけるなど社会生活上必要不可欠な用務を行う」社会参加促進のための会議や催事に参加する」  
②市内の教育・保育機関、福祉ボランティア団体などが、手話普及や聴覚障害者との交流を目的とした行事への派遣を希望する場合

なお、行政や団体が行う不特定多数を対象とした講演会などの事業は、原則として、主催者が手話通訳者を設置するよう依頼しています。その際の費用は主催者が負担し、市は通訳者の手配に協力しています。

■福祉医療制度

問 乳幼児医療助成制度を、県の

4月から妊婦健診の公費負担を14回までに拡大し、産婦健診についても1回分を公費負担としていきたいと考えています。

■AED

問 AED(自動体外式除細動器)の設置場所や案内表示はどのように周知しているのか、また、公共施設が休日の場合やスポーツなどのイベント時に、無料貸し出しができるか伺いたい。

答 設置場所は、市ホームページや全世帯に配布した冊子で周知しています。案内表示は、現在、施設の入口と設置箇所にAEDステッカーを貼っています。更に使いやすい場所への設置を指導していきます。また、今後必要と認められる市の施設についても、新たに設置を検討していきます。

無料貸し出し用のAEDは、保健センターに1台設置。町内会や団体行事で利用可能です。しかし、行事が重なり不足することもあるため、貸し出し用のAEDを増設していきたいと考えています。

■駐輪場の確保

問 現在の自転車駐輪場の利用状況と今後の増設計画について伺いたい。

答 市内すべての鉄道駅に駐輪場を設置。利用率は、JR安城駅南

助成枠を超えて入院・通院とも中学校卒業まで拡大していく予定だが、福祉医療制度を県が改正することによる市の対応を伺いたい。

答 県は、乳幼児医療費助成の拡大をはじめとした福祉医療制度の改正を4月から行うとしています。市では、乳幼児医療を「子ども医療」と名称変更し、中学校卒業までに対象年齢を拡大。このほか県の福祉医療の改正に合わせ、精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者が入院した場合の助成を、現在の自己負担分の2分の1から全額としていきます。また、後期高齢者福祉医療費給付制度では対象外とされる「ひとり暮らし高齢者」については、引き続き福祉給付金の対象者として助成していきたいと考えています。

委員会の活動状況

各委員会の活動状況は次のとおりです。

\*総務企画常任委員会

11月26日●部会を開催。実施計画

口が17%、名鉄碧海古井駅が13%、名鉄北安城駅が84%、そのほかの5駅が36~70%となっています。今後は、エコサイクルシティ計画の推進により自転車の増加が見込まれるため、JR安城駅南口駐輪場隣接地に約600台、碧海古井駅駐輪場に約100台の駐輪場を増設する予定です。そのほか、碧海桜井駅の高架下に約850台分、小川町地内へ建設予定の新駅に約50台分整備する予定です。

都市整備



■碧海桜井駅と周辺のまちづくり

問 碧海桜井駅付近の鉄道立体交差事業の進捗よく状況と今後のまちづくりの整備方針、名鉄西尾線沿線の駅名について伺いたい。

答 同事業は、今年度末に66%の進捗率となる予定で、順調に工事が進んでいます。今後は、駅を中心とした交通ネットワーク確立のため、公共交通機関などを強化する必要があると思います。また、駅周辺には、福祉施設もあるため、区画整理事業に併せてバリフリー化を進めたいと考えています。鉄道高架下については、駐輪場やトイレ、リサイクルステーションなどを設置するため名鉄と協議しています。

名鉄西尾線沿線の駅名は、地元から、新駅を南桜井駅、碧海桜井駅を桜井駅、碧海堀内駅を堀内公園駅とするよう、市に要望書が出されています。駅名の決定は、名鉄が最終的に判断しますが、市として、実現のため要請していきます。

■交通問題

問 都市計画道路路安城高浜線の今後の整備方針を伺いたい。また、県道豊田安城線と市道新明東栄線の完成によつて起きる周辺踏切の交通量の変化について伺いたい。

答 都市計画道路路安城高浜線は、衣浦の臨海工業地帯と豊田市を中心とする内陸工業地帯を結ぶ重要な路線であり、早期全線開通が望まれます。同線が接続する主要地方道豊田安城線は、平成21年度に供用開始する予定とのことです。引き続き、県へ、安城高浜線の未整備区間に着手すること、名鉄西尾線と交差する箇所では、道路の上を鉄道が立体交差する立体交差事業として整備するよう、強く要望していきます。

県道豊田安城線・市道新明東栄線の周辺には、4つの踏切があります。予測では、概ね3分の2がう回すると思われ、踏切の待ち時間短縮、北部地域の渋滞緩和につながるかと考えています。

11月27日・12月14日●議会のバリフリー化、委員会・部会の充実強化について協議。

\*広域行政・行政改革特別委員会

10月19日●勉強会を開催。西三河南部医療圏や安城更生病院の現状と課題について説明を聞き、質疑。10月23日~25日●香川県丸亀市、愛媛県松山市、大阪府池田市を訪問。丸亀市自治基本条例、松山市急患医療センター、行政改革システム改革プランについて調査。11月21日●行政調査の結果を報告。

\*まちづくり推進特別委員会

10月2日~4日●栃木県宇都宮市、長野県長野市、埼玉県越谷市を訪問。うつのみや表参道スクエア、TMO(株)まちづくり長野、越谷レイクタウンについて調査。12月10日●中心市街地拠点整備構想に関する提言書、南明治第一土地区画整理事業の説明を聞き、質疑。

\*環境首都推進特別委員会

9月28日●環境施策について勉強会を開催。10月23日~25日●福島県いわき市、埼玉県川越市、群馬県館林市を訪問。いわき市環境基本計画年次報告書、新エネルギーの活用、かわごえ環境ネット、住民と共に進める地球温暖化対策について調査。

\*議会運営委員会

10月30日~11月1日●東京都千代田区、埼玉県本庄市、神奈川県小田原市を訪問。議会運営について調査。11月27日●第4回定例会の議会運営について協議。12月14日●第4回定例会最終日の議事運営について協議。

\*議会改革検討委員会

11月26日●部会を開催。実施計画